



プログラマに浸透中、GitHubでも標準フォーマット

Markdownドキュメントの書き方講座

第3回 文書中に図や複雑な数式を埋め込む方法

村井 和夫

```
URLを使った図形の埋め込み
![画像](https://www.cqpub.co.jp/images/
mag_if.gif "Interface ロゴ")

ファイルパスを使った図形の埋め込み
![CQ](./site_id.gif)

![MD](./64px-Markdown-mark.png)
```

(a) Markdown

文字列の出力には、`printf()`関数を使います。

(a) Markdown

文字列の出力には、`printf()`関数を使います。

(b) 結果

図2 本文中にプログラムなどを埋め込む方法
通常の本文とは異なるフォントで表示される



(b) 結果

図1 文書内に画像などを埋め込む方法

文書の本文に文書の構造に関する情報も埋め込めるMarkdownが、プログラムの付属文書などで使われる場面が増えています。複雑な装飾はできませんが、HTMLなどに比べて書きやすいためプログラマには人気があります。

今回は、図形や数式の埋め込み方を紹介します。

(編集部)

● 図形の埋め込み

リンク表現の前に“!”を付けることで図形のURLまたは、ファイルのパスをリンクとして記述し図形を埋め込むことができます。リンクの後ろにはポップアップ表示するテキスト、“[]”の中にはファイルが存在しない場合の代替テキストを書きます(図1)。

```
```C++ ← C++のコードとして扱われる
#include <stdio.h>
void main() {
 printf("Hello World\n");
}
```
```

(a) Markdown

```
#include <stdio.h>
void main() {
    printf("Hello World\n");
}
```

(b) 結果

図3 コード・ブロックの記述

``の後ろに言語名を書くことで、コード・ブロックの中で、シンタックス・ハイライトできる

● プログラム・コードの埋め込み

文章中にプログラム・コードを埋め込むには、対象となる部分を“```”で囲みます(図2)。

● コード・ブロック

行頭に“```”を入れると、次の行頭に“```”が現れるまでをプログラム・コードとして扱い、そのまま表示されます。1つ目の``の後ろに言語を指定することで、キーワードなどを見やすく表示できます(図3)。

Markdownのこの記述自体を本文中に示したい場合は4つの“`”で囲みます。